

平成22年8月期 第1四半期決算短信

平成22年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンエー・インターナショナル  
 コード番号 3605 URL <http://www.sanei.net>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 三宅孝彦  
 (氏名) 鈴木忍

TEL 03-5467-9910

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第1四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第1四半期	26,628	△14.0	2,110	△7.3	1,957	△13.3	615	92.1
21年8月期第1四半期	30,968	—	2,275	—	2,257	—	320	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第1四半期	36.66	—
21年8月期第1四半期	19.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第1四半期	61,554	29,718	47.4	1,739.09
21年8月期	56,577	29,291	51.2	1,726.75

(参考) 自己資本 22年8月期第1四半期 29,181百万円 21年8月期 28,974百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
22年8月期	—	—	—	—	—
22年8月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	54,000	△8.8	950	109.8	630	307.6	320	—	19.07
通期	106,500	△4.8	1,000	—	340	—	120	—	7.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年8月期第1四半期 17,780,200株 21年8月期 17,780,200株

② 期末自己株式数 22年8月期第1四半期 1,000,342株 21年8月期 1,000,342株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年8月期第1四半期 16,779,858株 21年8月期第1四半期 16,779,858株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、個人所得が減少し、デフレが進行するなど、依然として景気低迷が続いています。

アパレル業界においても、消費者の買い控え志向がますます強まり、売上の不振が続く厳しい状況にあります。

このような経営環境のもと当社グループは、収益性の低いブランドや店舗のスクラップ、経費削減を実行する一方、成長が見込まれる都市型商業施設への出店や新業態の開発に注力しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は266億28百万円（前年同四半期比14.0%減）、営業利益は21億10百万円（前年同四半期比7.3%減）、経常利益は19億57百万円（前年同四半期比13.3%減）となりました。また、投資有価証券評価損による特別損失5億4百万円を計上し、四半期純利益は6億15百万円（前年同四半期比92.1%増）となりました。

事業区分別の売上概況は次のとおりです。

事業区分	売上高(百万円)	比率(%)	前年同四半期比(%)
アパレル事業			
オリジナルブランド事業部門	19,130	71.9	83.9
ライセンスブランド事業部門	2,834	10.6	86.8
その他アパレル事業部門	4,636	17.4	94.8
アパレル事業小計	26,601	99.9	86.0
その他事業	26	0.1	109.5
合計	26,628	100.0	86.0

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

## 〔オリジナルブランド事業部門〕

「ジル バイ ジル スチュアート」、「パーリーゲイツ」等の一部ブランドの売上が伸長したものの、総じて売上は低迷しました。

以上の結果、この部門の売上高合計は191億30百万円（前年同四半期比16.1%減）となりました。

## 〔ライセンスブランド事業部門〕

「ケイト・スペード ニューヨーク」、「キャロウェイアパレル」等の売上により、この部門の売上高合計は28億34百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

## 〔その他アパレル事業部門〕

「アングローバルショップ」、「ラストコール」、「フリーズショップ」等の売上により、この部門の売上高合計は46億36百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。また、都市型商業施設向けの新業態「フリーズマート」を新たに立ち上げました。

## 〔その他事業〕

(株)イント・トラベル、(株)ブラックス等の事業により、この部門の売上高合計は26百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成21年8月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	増 減
総 資 産	56,577	61,554	4,977
負 債	27,286	31,836	4,550
純 資 産	29,291	29,718	427
自己資本比率	51.2%	47.4%	△3.8%
1株当たり純資産	1,726.75円	1,739.09円	12.34円

総資産は、繰延税金資産の減少等による流動資産「その他」の減少（前期末比6億97百万円減）、投資有価証券の評価減等による投資その他の資産「その他」の減少（前期末比4億31百万円減）等があったものの、受取手形及び売掛金の増加（前期末比28億2百万円増）、たな卸資産の増加（前期末比38億22百万円増）等により、49億77百万円の増加となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加（前期末比36億72百万円増）、未払法人税等の増加（前期末比5億26百万円増）等により、45億50百万円の増加となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（前期末比1億95百万円増）、少数株主持分の増加（前期末比2億10百万円増）等により、4億27百万円の増加となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は12.34円の増加となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月15日付で公表しました連結業績予想及び個別業績予想に変更はありません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

## ① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

## ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められたので、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,668	13,054
受取手形及び売掛金	10,020	7,217
商品及び製品	12,078	7,974
仕掛品	320	597
原材料及び貯蔵品	139	144
その他	1,970	2,667
貸倒引当金	△84	△45
流動資産合計	37,113	31,611
固定資産		
有形固定資産	7,183	7,095
無形固定資産	4,349	4,478
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,563	9,536
その他	3,595	4,026
貸倒引当金	△250	△171
投資その他の資産合計	12,908	13,391
固定資産合計	24,441	24,965
資産合計	61,554	56,577
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,078	12,405
短期借入金	170	340
1年内返済予定の長期借入金	2,139	2,298
未払法人税等	713	186
賞与引当金	1,150	877
ポイント引当金	171	193
株主優待引当金	6	11
返品調整引当金	493	177
その他	4,546	3,981
流動負債合計	25,471	20,473
固定負債		
長期借入金	4,590	5,018
退職給付引当金	320	307
役員退職慰労引当金	622	629
その他	831	856
固定負債合計	6,364	6,812
負債合計	31,836	27,286

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,376	7,376
資本剰余金	7,455	7,455
利益剰余金	17,107	16,912
自己株式	△2,001	△2,001
株主資本合計	29,937	29,741
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△473	△540
繰延ヘッジ損益	△4	1
為替換算調整勘定	△277	△228
評価・換算差額等合計	△755	△767
新株予約権	304	294
少数株主持分	232	21
純資産合計	29,718	29,291
負債純資産合計	61,554	56,577

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
売上高	30,968	26,628
売上原価	13,602	11,621
売上総利益	17,366	15,006
販売費及び一般管理費	15,090	12,896
営業利益	2,275	2,110
営業外収益		
受取利息	7	1
受取配当金	—	0
不動産収入	46	47
為替差益	15	—
その他	52	35
営業外収益合計	121	85
営業外費用		
支払利息	25	25
店舗等除却損	102	96
為替差損	—	22
貸倒引当金繰入額	—	78
その他	11	15
営業外費用合計	139	238
経常利益	2,257	1,957
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	92
ポイント引当金戻入額	—	22
特別利益合計	—	114
特別損失		
減損損失	80	—
投資有価証券評価損	991	504
特別損失合計	1,071	504
税金等調整前四半期純利益	1,185	1,567
法人税、住民税及び事業税	1,215	657
法人税等調整額	△344	300
法人税等合計	870	958
少数株主損失(△)	△5	△5
四半期純利益	320	615

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,185	1,567
減価償却費	770	730
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	117
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6	12
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	736	272
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	17	—
返品調整引当金の増減額(△は減少)	584	316
ポイント引当金の増減額(△は減少)	58	△22
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△4
受取利息及び受取配当金	△10	△2
支払利息	25	25
店舗等除却損	89	100
減損損失	80	—
投資有価証券評価損益(△は益)	991	504
売上債権の増減額(△は増加)	△3,810	△2,802
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,453	△3,822
仕入債務の増減額(△は減少)	4,562	3,672
その他	235	574
小計	62	1,233
利息及び配当金の受取額	9	2
利息の支払額	△26	△25
法人税等の支払額	△935	△155
営業活動によるキャッシュ・フロー	△889	1,055
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	51	—
有価証券の償還による収入	199	—
有形固定資産の取得による支出	△438	△473
有形固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
無形固定資産の取得による支出	△13	△7
敷金及び保証金の差入による支出	△1,014	△247
敷金及び保証金の回収による収入	311	347
長期前払費用の取得による支出	△117	△21
その他	1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023	△409

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	140	△152
長期借入金の返済による支出	△459	△585
配当金の支払額	△838	△419
少数株主からの払込みによる収入	—	220
少数株主への配当金の支払額	—	△4
その他	—	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,157	△956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△272	△76
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,343	△386
現金及び現金同等物の期首残高	15,807	12,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,464	12,098

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成20年11月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年9月1日 至平成21年11月30日）

アパレル事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成20年11月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年9月1日 至平成21年11月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成20年11月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年9月1日 至平成21年11月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## 注記事項

## (四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末 (平成21年8月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 10,150百万円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 9,823百万円
※2 過年度に取得した固定資産のうち、障害者作業施設設置等助成金による圧縮記帳額は5百万円であり、四半期連結貸借対照表計上額はこの圧縮記帳額を控除しております。なお、その内訳は有形固定資産5百万円であります。	※2 過年度に取得した固定資産のうち、障害者作業施設設置等助成金による圧縮記帳額は5百万円であり、連結貸借対照表計上額はこの圧縮記帳額を控除しております。なお、その内訳は有形固定資産5百万円であります。
3 当社及び連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当第1四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額 2,450百万円 借入実行残高 133 差引額 2,317	3 当社及び連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額 2,470百万円 借入実行残高 129 差引額 2,341

## (四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 賃借料 3,022百万円 貸倒引当金繰入額 6 ポイント引当金繰入額 50 給与手当 3,177 賞与引当金繰入額 605 役員賞与引当金繰入額 17 役員退職慰労引当金繰入額 6	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 賃借料 2,950百万円 貸倒引当金繰入額 38 給与手当 3,044 賞与引当金繰入額 325 役員退職慰労引当金繰入額 7

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年11月30日) 現金及び預金勘定 12,534百万円 預入期間が3カ月を超える定期預金 △70 現金及び現金同等物 12,464	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年11月30日) 現金及び預金勘定 12,668百万円 預入期間が3カ月を超える定期預金 △570 現金及び現金同等物 12,098